

一般用医薬品入門

責 任 者・コーディネーター	臨床薬学講座地域医療薬学分野 高橋 寛 教授		
担当講座・学科(分野)	臨床薬学講座地域医療薬学分野		
対象学年	3・4	区分・時間数 (1コマ2時間換算)	講義 8 時間 (4 コマ)
期 間	前期		
単 位 数	0.5 単位		

・学修方針（講義概要等）

薬局やドラッグストアで購入できる医薬品に要指導医薬品や一般用医薬品などがある。これらの有効活用を促進することで、地域住民のセルフメディケーションの支援として、健康の維持や軽い症状への対応ができ、健康寿命の延伸や医療費の適正化に貢献できる。近年、総合感冒薬（風邪薬）を未成年者が乱用する過剰投与（オーバードーズ）が社会問題となったり、緊急避妊薬（モーニングアフターピル）の市販薬化が検討されたりするなど、一般用医薬品の販売における薬剤師の関わり方が見直されている。OTC 検査薬も数多く市販され、これらを活用することで、今後薬剤師が活躍する場が広がることが予想される。そのため一般用医薬品や OTC 検査薬の適切な販売に積極的に関与する必要がある。一般用医薬品における社会のニーズと適切な販売に関する基本的知識を修得する。3 年次の薬事関係法規・制度 1 や 4 年次の臨床薬学 2 に関連し、一般用医薬品等の知識や医薬品の販売制度を知ることにより、地域住民のセルフメディケーションの支援に必要な基本的知識を学ぶ基盤となる。

・教育成果（アウトカム）

一般用医薬品の知識を学修することで、セルフメディケーションの支援を含め、地域住民の健康支援として情報提供ができるようになり、自身の健康維持に積極的になる。また、自分の健康維持に関心を持ち、軽度の症状の際に自ら一般用医薬品等を選択し、対応できるようになる。また、登録販売者の資格取得挑戦への学修の機会にもなる。

（ディプロマ・ポリシー：1,2,3,4）

・到達目標（SBO）

1. セルフメディケーションと一般用医薬品等の役割を説明できる。（☆）
2. 一般用医薬品等でおこる重篤な副作用を列举できる。（☆）
3. 若者が市販薬乱用をする背景を説明できる。（☆）
4. 一般用医薬品を正しく使用する際の注意事項を説明できる。（☆）
5. 乱用等の危険がある医薬品の適切な販売方法について説明できる。（☆）
6. 緊急避妊薬が必要とされる社会的背景について説明できる。（☆）
7. 緊急避妊薬の使用方法について適切な説明ができる。（☆）
8. 健康支援に使える OTC 検査薬や検査機器とその役割について調べることができる。（☆）

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
4/7	月	5	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授	セルフメディケーションにおける一般用医薬品・要指導医薬品の役割 1.セルフメディケーションと一般用医薬品等の役割を説明できる。(☆) 2.一般用医薬品等でおこる重篤な副作用を列挙できる。(☆) 【対話・議論型授業】【ICT(moodle)】 事前学修：処方箋がなくても入手できる医薬品がなぜ必要なのかについて考え、200 文字程度でまとめてきてください。 事後学修：授業で学んだ内容をまとめ感想とともにレポート（400～600 文字程度）を提出してください。
4/30	水	5	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授	若者で市販薬乱用（オーバードーズ）が起こる背景と対策 1.若者で市販薬乱用が起こる背景を説明できる。(☆) 2.一般用医薬品を正しく使用する際の注意事項を説明できる。(☆) 3.乱用等の危険がある医薬品の適切な販売方法について説明できる。(☆) 【対話・議論型授業】【ICT(moodle)】 事前学修：市販薬乱用とその対策について事前に調べ、200 文字程度でまとめてきてください。 事後学修：授業で学んだ内容をまとめ感想とともにレポート（400～600 文字程度）を提出してください。
5/7	水	5	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授 押切 昌子 薬剤師	緊急避妊薬と薬局薬剤師の役割 1.緊急避妊薬が必要とされる社会的背景について説明できる。(☆) 2.緊急避妊薬の使用方法について適切な説明ができる。(☆) 【対話・議論型授業】【ICT(moodle)】 事前学修：緊急避妊薬はどんな時に使用するのか、いつ飲めばよいか、について事前に調べ、200 文字程度でまとめてきてください。 事後学修：授業で学んだ内容をまとめ感想とともにレポート（400～600 文字程度）を提出してください。

5/14	水	5	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授 岡崎 光洋 薬剤師	健康支援に使える OTC 検査薬や検査機器の役割を調べる 1.健康支援に使える OTC 検査薬や検査機器とその役割について調べることができる。(☆) 【対話・議論型授業】【ICT(moodle)】 事前学修：OTC 検査薬にはどんなものがあるか事前に調べ、200 文字程度でまとめてきてください。 事後学修：授業で学んだ内容をまとめ感想とともにレポート（400～600 文字程度）を提出してください。また、全体の課題レポートを提出してください。
------	---	---	----------	----------------------	--

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	薬の選び方を学び実践する OTC 薬入門〔改訂第 6 版〕	上村直樹、鹿村恵明 ほか	薬ゼミ情報教育センター	2021

・成績評価方法

総括評価：各講義後の毎回のレポート（4 回）（論述式 50%）と全体講義終了後に課題レポート（論述式 50%）
形成的評価：毎回の事前課題に対して、フィードバックを行う。

・特記事項・その他

事前学修・事後学修のポイント
事前学修については、事前に moodle 上に課題を提示しますので、事前課題としてレポート用紙等に 400 文字程度でまとめてきてください。毎回 120 分程度を要します。
事後学修については、授業で学んだ内容をまとめ感想とともにレポート（400～600 文字程度）を作成し、提出してください。毎回 120 分程度要します。

事前課題やレポート等に対するフィードバック方法
課題に関しては、授業中に回答例の一部を紹介するなどフィードバックを行う。
提出されたレポートは、コメントを付けて、直接もしくは moodle 経由にて返却する。

実務家教員担当授業の有無 有
薬局等で薬剤師の実務経験を有する薬剤師や教員が、専門領域に関する実務的な教育を、実例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン（パナソニック CF-NX3）	1	スライド投影のため
講義	パソコン(Microsoft Surface Laptop Model1769)	1	スライド投影のため